

1 - 4 札幌周辺の地震活動 (1973.7 - 1980)

Seismicity near Sapporo City(1973.7-1980)

北海道大学理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

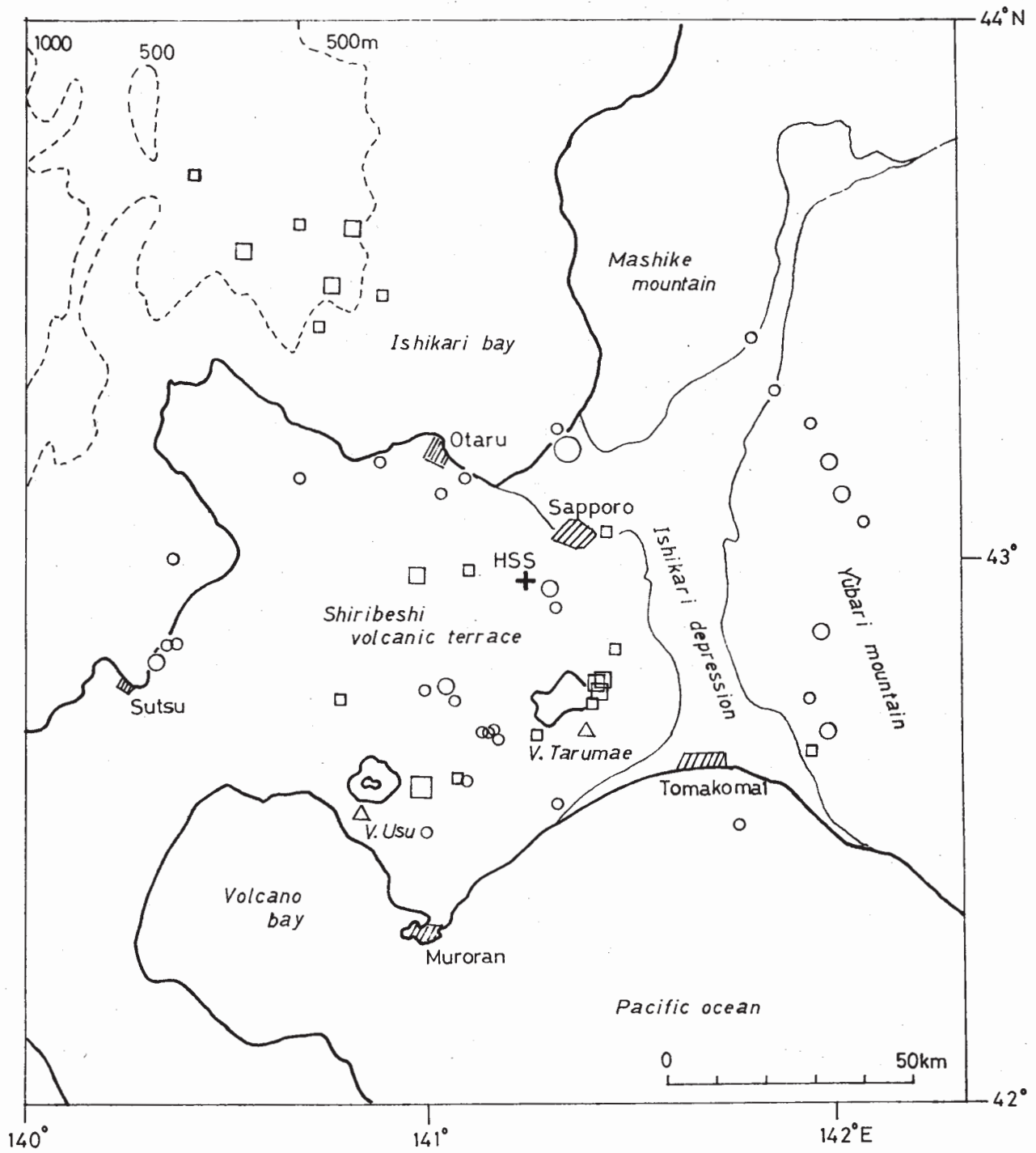
北海道大学理学部札幌地震観測所 (HSS) が 1973 年 7 月に地震観測をはじめてから 1980 年までの期間の札幌周辺の浅発地震活動について報告する。

震源の求まった地震の数は多くはないが、寿都付近に 1973 年末までみられた地震はその後には発生していないこと、76 年以降に石狩湾沖で地震が発生していること、後志火山性台地には地震が多いこと、石狩河口付近を除くと石狩低地帯には地震は発生していないこと、などいくつかの特徴を指摘出来る。また、79 年 10 月末から HSS で S - P 時間 1.5 秒程度の微小地震が発生しはじめて約 6 ヶ月続いた活動が注目される (第 2 図)。なお、この報告では、77 年 8 月 6 日から始まる有珠山の火山活動に伴う多数の地震はすべて省いてある。また、砕石発破などによる地動は含まれていない。

以上のべた地震活動のもつ意味は直ちには理解されないが、人口集中の著しい札幌市の地震対策を考える上で今後の基礎資料となるであろう。今回調べた期間中には、1974 年 11 月 17 日に石狩河口付近に発生した地震 (M4.0) により札幌で急激な地震動を感じ (震度 II), 大都市直下型地震として関心をあつめたことがあった。¹⁾ (本谷義信)

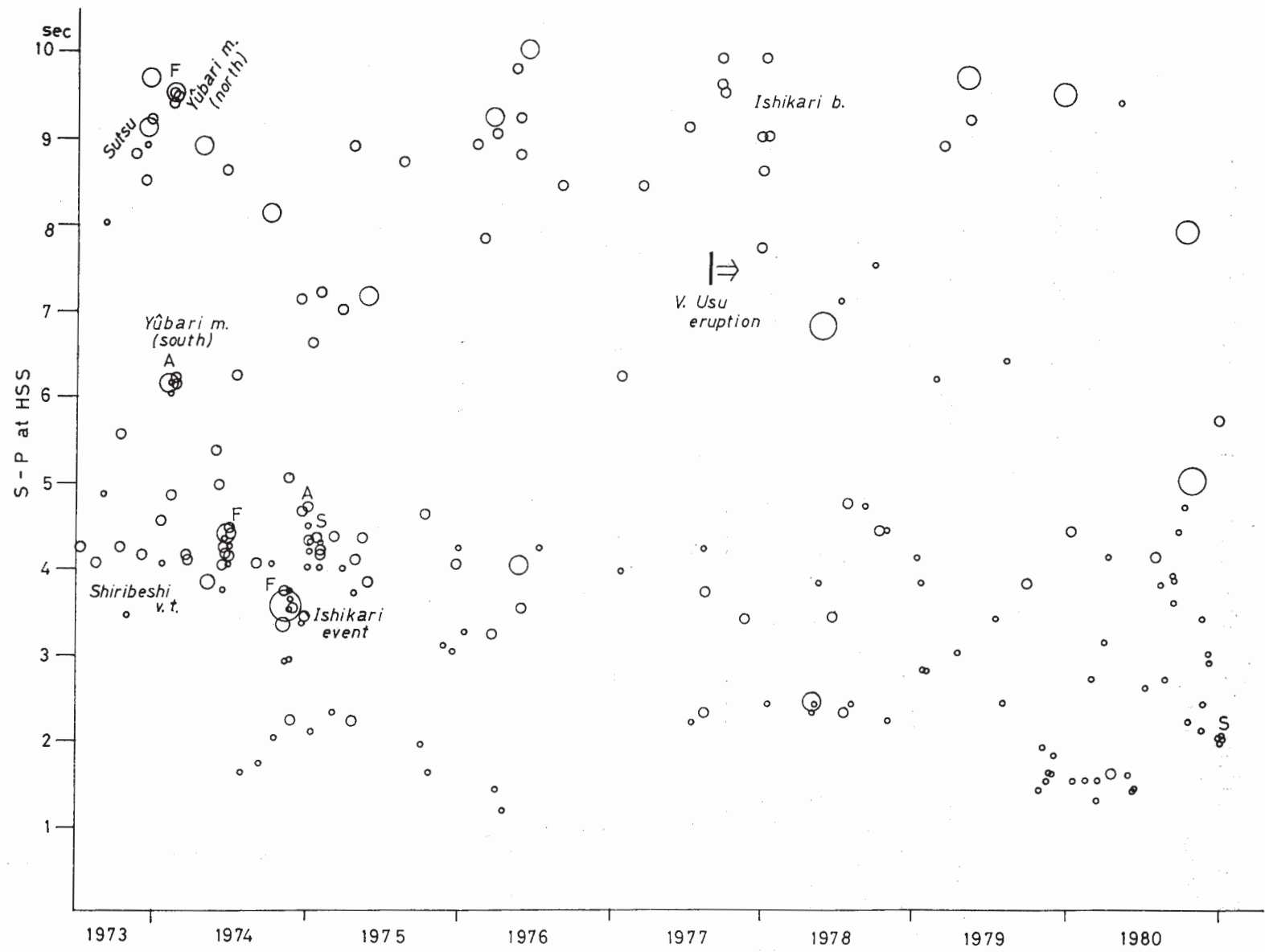
参 考 文 献

- 1) 北大理学部:北海道周辺の最近の地震活動 (1974 年 8 月~11 月), 連絡会報, **13** (1975), 4 - 6.



第1図 札幌周辺の浅発地震の震央分布
 丸は1973.7 - 1976.6, 四角は1976.7 - 1980.

Fig.1 Epicenter distribution of shallow earthquakes around Sapporo. circle:1973.7 - 1976.6, square:1976.7 - 1980.



第2図 地震の時間・空間分布

M	4	3½	3	2	1	F: foreshock-main shock-after shock
	○	○	○	○	○	A: main shock-after shock
						S: earthquake swarm

Fig. 2 Space-Time distribution of shallow earthquakes. Refer to Fig. 1 for seismic station HSS.